

C 舗装工事

トウスイポラコン舗装



水環境を考慮した快適な社会を構築するためには、環境負荷を低減し、水、大気などの自然の物質循環を健全に保っていくことが重要です。

水は、都市内の熱を和らげ、水辺景観により心の安らぎを与えるなど、人の生活環境全般に極めて重要な役割を果たしています。

トウスイポラコン舗装ならば、降雨の表面排水の抑制、植生・地中生態の改善、地下水の涵養など、本来自然が持っている水環境に近づける効用が得られます。

ナチュラル舗装

標準的なトウスイポラコン舗装です。セメント系の色合いで、周辺のコンクリート部分との相性が良いです。



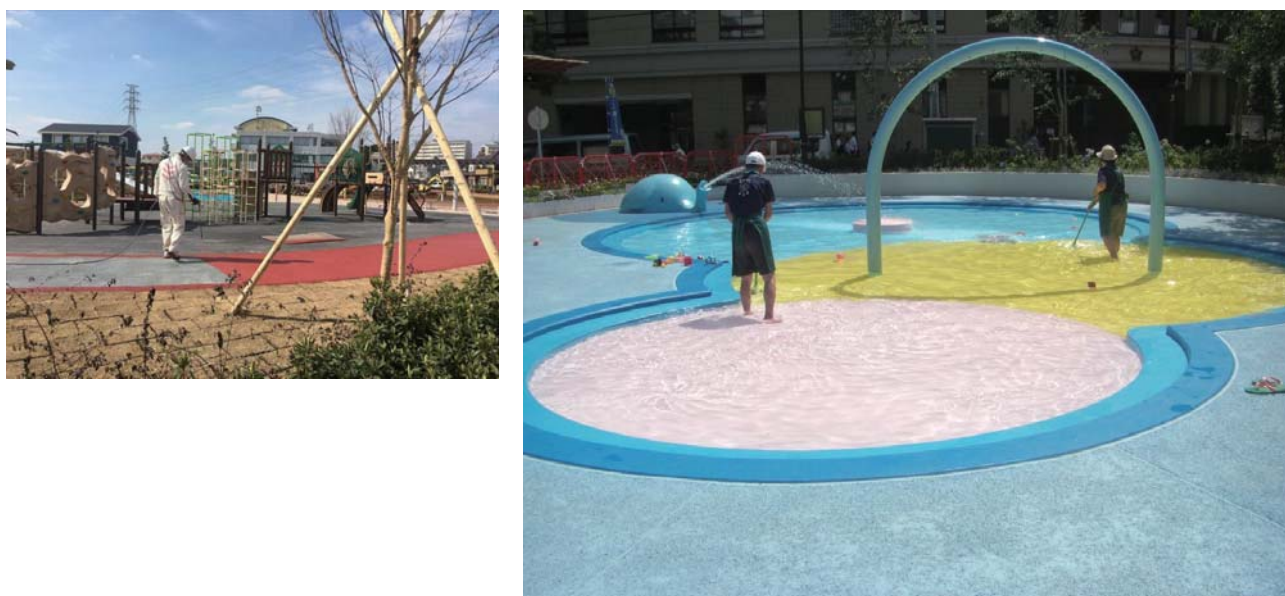
洗い出し舗装

当社オリジナルの遅延剤をトウスイポラコン舗装表面に散布する特許工法により、舗装表面を洗い出します。骨材が持つ自然の色を表現できるため、デザイン性に優れ、景観性の高いトウスイポラコン舗装が可能です。



カラー舗装

トウスイポラコン舗装施工後に、カラー塗料で着色します。デザイン性に優れ、機能性の高い舗装が出来ます。機能性とは、トウスイポラコン舗装の持つ透水性に加え、塗料の持つ機能（遮熱等）を付加することです。



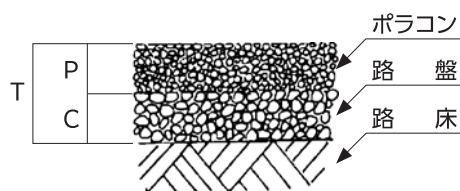
熱吸収効果のある塗料を使用したトウスイポラコン舗装

トウスイパラコン舗装の設計

トウスイパラコン舗装の設計

(単位：mm)

舗装厚断面設計〈例〉



参考文献
(社) 日本道路建設業界編：「透水性舗装ハンドブック」(山海堂、1979)

路床の設計 CBR		3	4	5
荷重条件	用途	P = 80 C = 120 T = 200	P = 80 C = 90 T = 170	P = 80 C = 70 T = 150
歩行者及び自転車のための歩道、自転車道、乗用車専用駐車場				
定常的に大型車が走行しない歩行者系道路、駐車場、建築外構軽舗装		P = 100 C = 150 T = 250	P = 100 C = 100 T = 200	P = 100 C = 100 T = 200
大型車の走行が見込まれる歩行者系道路、駐車場、建築外構簡易舗装		P = 150 C = 200 T = 350	P = 150 C = 150 T = 300	P = 150 C = 100 T = 250

特 性

- 透水性** … 舗装体は 1×10^{-1} cm/sec 以上の透水係数を持ち、全体に連続性空隙を形成しているため、降雨水を舗装内に貯留し、路床への浸透を促進させる働きをします。
- 強 度** … ポラコンの空隙率を一定の範囲内にすることにより、曲げ強度 2.5N/mm^2 以上を確保して、軽道路交通、公共施設、建築外構としても適用できます。
- 耐久性** … 強度とともに耐摩耗性があり、また耐候性にも優れ、舗装表面が夏期の日中に到達する最高温度(約 60°C)においても、アスファルト舗装のようにアスファルト溶解による目詰まりが生じません。
- 景観性** … セメント系の白舗装であることから、用途に応じて、洗い出し、着色工法が選択可能です。

その他

高流動パラコン



手前側は普通コンクリートで、
奥側は高流動パラコンによる中詰施工



トウスイポラコン舗装の施工



※は洗い出しトウスイポラコン舗装の工程